

感染症にかかっていますか？

敗血症のリスクを知っておきましょう

敗血症とは？

敗血症は、感染症に対して体が過剰な反応を起こすことで生じます。敗血症になると、心臓や肺など体のさまざまな臓器に障害が生じ、命に関わることもあります。

敗血症は医療上の緊急事態です。回復の可能性を高めるには、すぐに治療を受けることが大切です。

どのようなことに注意すればいいですか？

どんな感染症でも敗血症につながる可能性があります。ほとんどの感染症は自然に良くなります。しかし、症状が急に悪化したときにどうすればよいかを知っておくことが大切です。

敗血症になると、「いつもと違う」「今までで一番つらい」と感じる場合があります。

敗血症の症状



呼吸が速い
または息苦しい



発熱と悪寒



脈拍が速い



体温が低い



下痢



尿が少ない
または
ほとんど出ない



吐き気や
嘔吐



普段と違う疲
労感、混乱、
眠気、または行
動の変化



痛みがある、ま
たは「今までで
一番つらい」と
感じる

心配なときはどうすればいいですか？

ご自身または大切な人が敗血症かもしれないと思ったら、迷わず行動してください。トリプルゼロ(000)に電話するか、直ちに病院を受診し、医師または看護師に「敗血症の可能性はありますか？」と聞いてください。

すでに医師の診察を受けている場合でも、再受診してかまいません。



判断に迷う場合は、

13 HEALTH (13 43 25 84)

までお電話ください。登録看護師による無料・秘密厳守の相談を24時間受けることができます。

敗血症になりやすい人は？

敗血症は、若く健康な人を含め、誰にでも起こり得ます。ただし、人によってなりやすさは異なります。

次のような方は、敗血症のリスクが高まる可能性があります。

- 65歳以上
- 免疫力が低下している
- 最近手術を受けた
- 妊娠中または出産直後
- アボリジニまたはトレス海峡諸島民
- 現在がん治療を受けている
- 複雑な健康上の問題がある
- やけど、切り傷、けがをしている
- 新型コロナウイルス感染症にかかっている
- 過去に敗血症になったことがある
- 1歳未満の子供

「敗血症の可能性はありますか？」と聞くタイミングは？



この1分間の動画で敗血症について詳しく知しましょう。

敗血症を予防するには？

敗血症を防ぐには、まず感染症を防ぐことが大切です。そのために、次のことを心がけましょう。



体調が優れない場合は
医師に相談する



予防接種を適切に受ける



切り傷が治るまで、**傷口を清潔に保ち、覆っておく**



こまめに**手を洗う**



感染症や敗血症の兆候を
知っておく

謝辞

オーストラリア敗血症ネットワーク、疾病予防管理センター (CDC) およびオーストラレーシア感染症学会の資料を基に作成しています。

免責事項

この情報シートは教育のみを目的としており、医療専門家による助言に代わるものではありません。この情報シートは試行版です。ご意見・ご感想は、sepsis@health.qld.gov.au までメールでお寄せください。